

令和2年度 当初予算要求の概要

局・区名

環境局

要求総額

10,031

百万円

(対前年度予算 ▲ 0.4 %)

局区予算要求方針

SDGsに関する認知・理解の向上に向けた市民・事業者等への普及啓発を行うとともに、多様なステークホルダー間の連携強化のための新たなプラットフォームを構築します。また、低炭素、資源循環、自然共生、安全・安心の4つの目標領域において様々な施策を推進することで、「豊かな未来を築く、持続可能なまち・堺」の実現をめざします。

※ 給料、職員手当、共済費等各局で要求しないものは除く

重点的に取り組むもの

【※ ◎は新規事業、○は拡充事業】

1 SDGs達成に向けた取組の推進

要求額

◎ SDGsプラットフォームの構築・運営

13 百万円

取組内容 SDGs達成に向けた人材育成やパートナーシップ強化を図るとともに、SDGs金融による民間資金等の循環を図ることで、企業など多様なステークホルダーによる自律的な取組を促進するための場（プラットフォーム）の構築・運営を行う。

◎ 海洋プラスチック対策推進

3 百万円

取組内容 使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Freeチャレンジ」として、親子を対象とした啓発イベントなど、使い捨てプラスチック削減に向けた普及啓発活動を実施するとともに、市内で開催されるイベントやまつり等を対象に、リユース食器の導入を図る。

2 ごみの減量化・資源化の推進

要求額

○ 食品ロス削減

1 百万円程度

取組内容 令和元年10月1日に施行された食品ロスの削減の推進に関する法律を踏まえ、食品ロス削減に向けての各家庭や事業者向けの啓発について、具体的な取組を推進する。

3 地球温暖化対策・地域エネルギー施策の推進

要求額

○ 省エネルギープラットフォームの構築

4 百万円程度

取組内容 中小企業等の省エネルギーを推進することを目的として、国庫補助金等を活用した省エネルギープラットフォームを構築し、市内中小企業に専門家を派遣して省エネ診断を実施する等、中小企業の省エネルギー取組におけるPDCAサイクルの段階に応じた、きめ細やかなサポートを実施する。

4 生物多様性に配慮した施策の推進

要求額

○ 生物多様性に関する情報発信・普及啓発

6 百万円程度

取組内容 生物多様性・堺戦略に基づき、ウェブサイト「堺いきもの情報館」を活用した情報発信のほか、市民参加型の主催講座や各種イベント等での啓発活動を行う。また、令和元年度からの2か年の取組として、生物多様性の普及促進において活用する堺市レッドリスト等の改訂を行う。

5 市民の安全を守る施策の推進

要求額

○ PCB廃棄物の適正処理に向けた取組

39 百万円程度

取組内容 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、市内の未処理の高濃度PCB使用製品等を把握し、所有者に対して処分を促すことにより、令和2年度末の期限までに処理を完了する。

行財政改革の項目

1 事業の見直し

効果額

○ 補助事業の見直し

26 百万円

取組内容 スマートハウス等導入支援事業、スマートファクトリー・スマートオフィス導入支援事業について、制度の一部を見直す。